

加藤 偉重(名誉教授)分担執筆

『牧野植物図鑑原図集 — 牧野図鑑の成立 —』

北隆館 2020年3月 13000円



牧野富太郎博士による『牧野日本植物図鑑』は、1940年当時の植物学会を象徴する名著です。そんな同書の刊行80年を記念し、新発見の原図を掲載し、新たな図集を制作しました。

木本 玲一(言語文化学科非常勤講師)分担執筆

『ポピュラー音楽再考

— グローバルからローカルアイデンティティへ』

せりか書房 2020年3月 3000円



ポピュラー音楽を扱った待望の論文集です。20世紀初頭から現代までおよそ100年にわたるその歴史を読み解くことで、「コンテンツ」という枠に収まらないその魅力と価値を解き明かしています。



本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報。授業の中だけでは見られない先生の違った一面に触れることができます。

Books column

四元 康祐(言語文化学科非常勤講師)著

『ホモサピエンス詩集

四元康祐翻訳集現代詩篇』

澤標 2020年3月 2000円



著者がこれまで詩祭などで出会った世界22カ国、32人の詩人たちによる最高の詩作を収録。様々な言語で編まれたまばゆい言葉の数々、世界の詩の最前線を、この一冊で垣間見ることができます。

岡村 国和(経営学科教授)編著

『読みながら考える保険論(増補改訂第4版)』

八千代出版 2020年4月 2700円



「難しいことを易しく、易しいことをより深く」を主眼に編まれた保険の入門書。初版刊行から10年間で3度の増補改訂を経て、より分かりやすく、かつ幅広く対応できる一冊になっています。

高松 和幸(経営学科教授)著

『経営組織論の展開[新版]』

創成社 2020年5月 2000円



伝統的な組織論から近代の組織論まで、古今東西の経営組織論を網羅・展開した一冊。入門書に使えるだけでなく、各章の設問パートを活用すれば、副読本としても大いに役立ってくれます。

白川 貴子(交流文化学科非常勤講師)訳
(フリオ・ホセ・オールドバス 著)

『天使のいる廃墟』

東京創元社 2020年6月 1600円



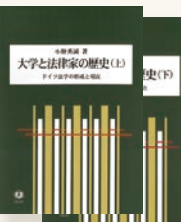
廃墟の村、「パラソ・アルト」を訪れるのは人生をあきらめた人々。かつて自殺を試みた主人公も、彼らの話を聞く「天使」の役割を与えられる。天使と人々が紡ぐ、繊細で暖かく、美しい物語です。

小野 秀誠(法律学科教授)著

『大学と法律家の歴史

— ドイツ法学の形成と現在(上・下)』

信山社 (上)2020年4月 12000円 (下)2020年6月 10000円



14世紀末から現代までのドイツにおける大学法学部の変遷を丹念に追った意欲作。その流れから、かかして現代の法学、法書教育が育まれてきたのかを読み解くとともに、今後の動向を描き出します。

安部 哲夫(法律学科教授)共編著

『ビギナーズ犯罪法』

成文堂 2020年6月 3200円



刑法を法文や条項などではなく、実際の犯罪の種類、ケースで分類・解説する法学入門書です。社会学など他分野の視点も取り入れ、実例をあげつつ犯罪を扱う法律を読み解いています。

高橋 均(総合政策学科教授)著

『実務の視点から考える会社法(第2版)』

中央経済社 2020年7月 3100円

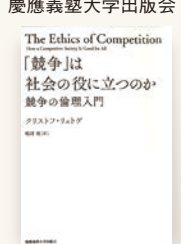


本書は会社法の全容を明確に示すとともに、著者の経験も踏まえて、同法を実務上も役立てるための一冊となっています。令和元年改正会社法の内容を反映しつつ、第2版として改訂・出版されました。

嶋津 格(総合政策学科特任教授)訳
(クリストフ・リュッゲ 著)

『「競争」は社会の役に立つのか — 競争の倫理入門』

慶應義塾大学出版会 2020年8月 2200円



近年、資本主義批判とともに「競争」を嫌う声も現れています。しかし、果たして競争は悪なのでしょうか？ 哲学、倫理、教育、政治など、様々な視点で「競争」を読み解き、その価値と役割を説明します。

四元 康祐(言語文化学科非常勤講師)編

『地球にステイ! 多国籍アンソロジー詩集』

クオン 2020年9月 1500円



2019年末より、新型コロナウイルスの猛威により世の中は激変しました。そんな中、詩人たちは何を見て何をうたうのでしょうか？ コロナ禍をうたいあげた世界の詩人たちの詩が、この一冊に詰まっています。

前島 賢士(経営学科非常勤講師)著

『日本のホワイトカラー犯罪』

学文社 2020年9月 2100円



合法的な職業についている人物が、その職業上犯す犯罪である「ホワイトカラー犯罪」は、なぜ起こるのでしょうか。日本でのホワイトカラー犯罪について、犯罪者が行なう正当化などを取り上げます。

尾玉 剛士(フランス語学科専任講師)分担執筆

『どうする日本の福祉政策』

ミネルヴァ書房 2020年10月 3000円



私たちの生活を支える雇用、社会保険、生活保護。近年、社会情勢の変化に伴い、この3つに結びが見えています。日本における福祉の現状と今後、そのリアルをこの一冊で読み解いています。

白川 貴子(交流文化学科非常勤講師)共訳
(マデレーン・オルブライト著)

『ファシズム：警告の書』

みすず書房 2020年10月 3000円



ナチスドイツとソ連というふたつの「ファシズム」の脅威により2度の亡命を経験し、アメリカ初代女性国務長官として金正日やプーチンらとも交渉した経験を持つ著者が現代政治に投げる警告の書です。

■ 獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。